

施策体系

政策名(基本方針)	3	教育の健康	施策名	13	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成
-----------	---	-------	-----	----	---------------------

施策統括部	教育部	関係課	商工振興課、秘書政策課
施策主管課	生涯学習課		

1 施策の目的と指標

対象	市民や市の出身者	意図	合志市の歴史、伝統文化に対する愛着や誇りを持つ
----	----------	----	-------------------------

成果指標

名称		単位
A	合志市の歴史、伝統文化に触れている市民の割合〔市民アンケート〕	%
B	合志市を郷土として愛着を感じていると答えた市民の割合〔市民アンケート〕	%
C	合志市を郷土として誇りを持っていると答えた市民の割合〔市民アンケート〕	%
D		

2 指標等の推移

成果指標	26年度現状値	数値区分	28年度	29年度	30年度	31年度	評価	背景として考えられること	
A	%	48.7	成り行き値	48.7	48.7	48.7	48.7	×	総合センター「ヴィーブル」が復旧工事期間中、歴史資料館は閉館していたことが要因の一つと考えられる。引き続き郷土愛の醸成に資する取り組みを進める。
			目標値	49.3	49.9	50.5	51.1		
			実績値	41.1	40.3				
B	%	72.0	成り行き値	72.0	72.0	72.0	72.0	×	総合センター「ヴィーブル」の災害復旧工事により歴史資料館が閉館していたため、歴史、伝統に触れる機会が減ったことが要因の一つと考えられる。引き続き郷土愛の醸成に資する取り組みを進める。
			目標値	72.5	73.0	73.5	74.0		
			実績値	74.6	67.8				
C	%	61.1	成り行き値	61.1	61.1	61.1	61.1	△	前年度に比べ若干下方推移しているが、目標をほぼ達成している。引き続き郷土愛の醸成に資する取り組みを進める。
			目標値	61.4	61.7	62.0	62.3		
			実績値	62.3	57.5				
D			成り行き値						
			目標値						
			実績値						

※【評価】 ○; 目標達成 △; 目標をほぼ達成(-5%) ×; 目標を未達成

事務事業数・コスト		28年度	29年度	30年度	31年度	
事務事業数		本数	7	8		
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	10,000	
		地方債	千円	0	0	
		その他	千円	22	487	
		繰入金	千円	0	0	
		一般財源	千円	9,494	20,363	
	事業費計 (A)		千円	9,516	30,850	
(A)のうち指定経費		千円	0	0		
(A)のうち時間外、特殊勤務手当		千円	0	0		
人件費	延べ業務時間	時間	718	3,465		
	人件費計 (B)	千円	2,683	13,708		
トータルコスト(A)+(B)		千円	12,199	44,558	0	

3 施策の特性・状況変化・住民意見等

【1】施策の方針

・地域で伝承されてきた伝統的郷土芸能や歴史的な祭りの保存活動を行う団体の継承者の育成を支援します。

【2】協働によるまちづくりの具体策(市民と行政の役割分担)

ア)住民(事業所、地域、団体)の役割

・市民は、昔から伝えられてきた行事などに参加することで、歴史、伝統文化を継承するとともに、新しい文化を創造し伝えます。  
 ・地域は、地域の歴史や伝統文化を守り、継承することによって住民間の連帯感を高めます。  
 ・企業や事業所は、地域行事に積極的に参加し協力を行います。

イ)行政の役割(市がやるべきこと)

・市は、文化財の保護、保存と施設の管理を適切に行います。  
 ・市は、文化財や施設について、市民への啓発に努め、活用促進を図ります。  
 ・市は、取り組んでいる地域の実情に応じた支援を行います。  
 ・市は、学校教育と連携した子どもたちへの啓発を行います。

【3】成果指標の目標設定とその根拠(上段)・成果指標の測定企画(下段)

A	合志市の歴史、伝統文化に触れている市民の割合の成り行き値は、全体人口の増加率に比べ、極端な増減はないため平成26年度の実績値で推移すると設定しました。目標値は、資料館での特別展やまちめぐりふるさと探訪バスなどの充実に努め、文化財や伝統芸能の周知を図り、伝統文化である祭り等の支援を行うことと過去の実績値(伸び率)を踏まえて平成31年度は51.1%に設定しました。
B	合志市を郷土として愛着を感じていると答えた市民の割合の成り行き値は、全体人口の増加率に比べ、極端な増減はないため平成26年度の実績値で推移すると設定しました。目標値は、現状でも72.0%と水準は高いと考えますが、今後も指定文化財の掘り起こしや啓発に努めていくことで、郷土の再発見をしてもらう機会が増えることと、過去の実績値(伸び率)を踏まえて平成31年度は74.0%に設定しました。
C	合志市を郷土として誇りを持っていると答えた市民の割合の成り行き値は、全体人口の増加率に比べ、極端な増減はないため平成26年度の実績値で推移すると設定しました。目標値は、現状では61.1%の人が誇りを感じており、子どもたちが地域や学校で、歴史や伝統文化に触れ合う機会を設け、理解を深めてもらうことで、子どもたちを含め地域でも誇りを持ってもらえることと、過去の、実績値(伸び率)を踏まえて平成31年度は62.3%に設定しました。
D	

**【4】施策の現状と今後の状況変化**

- ・歴史資料館と郷土資料館の統合に向け、両館の収蔵物調査を進め、収蔵、展示方法、出土品作業等の機能やあり方の検討が必要で
- す。
- ・文化財の標柱や案内板等が、老朽化による腐食や損傷が進んでおり、分かりづらくなってきています。
- ・伝統的郷土芸能や歴史的祭りの保存・継承活動を行う団体の会員の高齢化により、存続も難しくなっています。

**【5】この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか？**

(平成29年度(平成28年度振り返り)の施策評価における議会意見)

- ・歴史・伝統・文化それぞれについて具体的に何を指すのか、その保存・活用などの現実的な対応策を示すこと
- ・歴史資料館の充実に努めること

(平成29年度(平成28年度振り返り)の施策評価における総合政策審議会意見)

- ・観光と一体化して取り組むなど文化財の周知方法を検討すること
- ・文化財や伝統文化の後継者の育成を行うこと

**4 施策の評価**

**【1】 施策の振り返り(施策の方針、経営方針の達成度等)**

※ 経営方針からの振り返り、貢献度評価の上位の事務事業を記載

(1) 平成29年度の経営方針(平成27年度評価を踏まえた取り組み方針)からの振り返りは、以下のとおり。

①「市の歴史・伝統・文化財等を活用した市民交流、郷土愛の醸成に資するような取り組みを進める。」については、ふるさと探訪まちめぐりバスや子ども歴史・科学体験教室の充実を図りながら実施した。「合志市の文化財巡り」では、竹迫周辺の史跡を見学し、上庄公民館にて昼食をとり、婦人会の方々と交流する機会を設けた。また、合志義塾跡や黒石原(飛行場)奉安殿跡の環境整備や看板設置を行ない、文化財の周知と普及活用に努めた。

②「歴史・伝統・文化財施設の適切な保存維持管理を行うと共に、市民への周知啓発の工夫改善に努める。」の「適切な保存維持管理」では、過去の発掘調査で出土した鉄製品の保存処理を行った。また、現在、仮収蔵庫として利用している旧給食センターが老朽化しており、温湿度等の面でも収蔵施設として適さない環境である。発掘調査の整理作業場と収蔵施設整備が今後の課題である。「周知啓発」については、旧西合志郷土資料館と合志歴史資料館を統合し、展示のリニューアルを行った。また、広報など周知啓発に努めた。行きやすい、分かりやすい、見やすい環境づくりを計画的に進める。

③「小中学生の学習の場、一般成人向けのふるさと探訪バス等の充実を図り、機会の提供に努める。」については、子ども歴史・科学体験教室を10回、ふるさと探訪まちめぐりバスを3回実施した。今後は、小中学校と連携するとともに講座のマンネリ化防止のため内容を見直す必要がある。

④「伝統文化保存団体の継承者支援に努める。」については、各種歴史伝統芸能団体の後継者育成を含めて引き続き支援を実施した。高千穂神楽(合志町高千穂神楽保存会)の後継者不足については、代表者や文化財保護委員などの意見を汲み取りながら支援を継続する。

⑤「日常的に史跡めぐりが出来るようなコースの設定や地域との連携を高める検討を行う。」については、竹迫の史跡めぐりははじめ、市内外の史跡めぐりコースを作成し、4回実施した。今後は、市民が日常的に散策できるコースについても検討していく。

(2) 事務事業貢献度評価の結果では、平成29年度施策の成果を向上させるために最も貢献した事務事業として、ドキュメンタリードラマ「郷土の偉人シリーズ」事業があげられた。

**【2】施策の課題**

- ・地域の文化財等を案内するボランティアガイドを育成します。
- ・伝統文化や郷土芸能などを継承するための後継者を育成します。
- ・新しい住民への地域や文化財等を紹介する啓発活動を行います。

**5 施策の29年度結果に対する審査結果**

**① 政策推進本部での指摘事項(施策目標達成度評価結果報告を受けて・・・平成30年7月19日)**

- ①合志市歴史資料館として内容の充実を図る。
- ②遺跡、史跡など市民が関心を持てるよう環境整備を図る。
- ③歴史と伝統文化について、市民や子どもたちに関心を持たせるような取り組みが必要。
- ④指定文化財の継承・育成するため地域の支援が必要。
- ⑤マンガミュージアムについては漫画文化の発信拠点として内容充実を図る。

**② 総合政策審議会での指摘事項(平成30年8月2日、9日、27日まとめ )**

- ①引き続き、観光と一体化して取り組むなど文化財の周知を検討すること
- ②市の歴史や伝統に関することを周知する工夫をすること
- ③地元出身者を活かした郷土愛につながる活動を検討すること

**③ 議会の行政評価における指摘事項(平成30年9月14日)**

- ①歴史資料館、図書館、マンガミュージアムを活かして、郷土に愛着を持つ市民を増やすこと
- ②案内板、美化作業等により文化財の環境整備に努めること

**6 次年度に向けた取り組み方針**

**● 政策推進本部 平成31年度合志市経営方針(平成30年10月9日)**

- ①市の歴史・伝統・文化財を活用して、郷土愛の醸成に資する取り組みを進める。
- ②歴史・伝統・文化財を活用して、市民が関心を持てるよう周知啓発の工夫に努める。
- ③歴史資料館、図書館、マンガミュージアムが相互に連携し、情報発信拠点として内容充実を図る。
- ④伝統文化の保存・継承・育成について、保存団体等との連携、支援を継続する。
- ⑤歴史・伝統・文化財施設の適切な保存維持管理を行う。